

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組みについて

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
学	<p>中長期的な重点目標の1 「教科指導を充実させ、生徒の学力向上をはかる。」 ① 将来社会でリーダーシップを発揮出来るよう高い理想を持ち、その理想を実現するため確かな学力を身に付けさせます。 (1 学年) 【取組状況の指標】 ・予習→授業→復習の学習のサイクルを早期に定着させる。このため、学年だよりや学習振り返りシートを活用し、学習に対する意識を改めさせる。 【達成状況の指標】 ・1 学年末のスタディーサポートで学習時間平日 2 時間以上が 50 % 以上 (昨年度は 46.5 %)、休日 3 時間以上が 65 % 以上 (昨年度は 67.3%) にする。</p>	<p>(1 学年) 【達成状況】 (1 月末の学習状況調査より) ・平日の学習時間 2 時間以上 28.0 % (昨年度 36.1 %) 達成できず。 ・休日の学習時間が 3 時間以上 36.5 % (昨年度 46.0 %) 達成できず。</p>	<p>(1 学年) 【課題と今後の取組み】 ・個別面談で、個々の生徒の課題に応じた具体的なアドバイスをすることで、生徒のモチベーションをあげる。面談は学年会での話し合いをまとめたポイントに随って実施。3 月のスタディーサポートでの学習調査(最終の指標)では少しでも挽回できるように取り組む。</p>
習	<p>(2 学年) 【取組状況の指標】 ・成績が伸び悩んでいる生徒のより一層のバックアップを心がけ、上位層の生徒にはより発展的な内容に取り組ませるなど、個々に応じた生徒対応を行う。</p>	<p>(2 年生) ・成績が伸び悩んでいる生徒のバックアップは小刻みなフィードバックで対応した。 ・7 月、8 月の模試においては目標を達成できた。しかし 9 月の模試は中だるみからか成績は下がった。</p>	<p>(2 年生) ・成績が悩んでいる生徒は、往々にして不安がぬぐい去れないことが多く、今後はメンタル的なケアも担任を中心として展開していく必要を感じた。 ・夏休み明けに文化祭、修学旅行とイベントが目白押しだったために、生徒が浮ついた状態になってしまったように思う。しかし、行事を検討するにもなかなか難しいものがある。現在は落ち着いた状態に戻っている。</p>
指	<p>【達成状況の指標】 ・各模擬試験において、全ての教科で過去 5 年間の成績を上まわることを目標とする。 (衛生看護科)</p>	<p>(衛生看護科) ・日々の学習が 30 分以上と 1 年生 60%、2 年生 70%、3 年生 80% の生徒が答えている。</p>	<p>(衛生看護科) ・各期間毎に面談を行い、成績不良者には補充授業・再テスト・課題などに取り組みせ、学習への動機づけを持たせた。また看護師を土台として各分野で活躍している先輩方を呼び、職業意識の高揚を図るための貴重な講演会を実施した。 ・課題：自分の進路に向けて継続して自主的に取り組める学習を進める。学習状況の実施が形骸化しないように分析し指導材料とする (衛生看護専攻科)</p>
導	<p>【取組状況の指標】 ・学ぶ意欲を育てるために外部講師や卒業生を招いてのキャリア教育を年 3 回以上実施する。 ・大桑名となった利点を生かし、専門教科だけでなく一般教科の先生方による小テストや確認テストを実施する。 ・各テストにおいて、その結果を踏まえた生徒個々のレベルに対応した個別指導を行う。</p>	<p>(衛生看護専攻科) ・日々の学習が 30 分以上と 90% 以上の生徒が答えている。</p>	<p>(衛生看護専攻科) ・外部講師の 4・5 月実施国試ガイダンス受講により国試勉強への意欲と危機感を感じ、勉強時間の確保へつながった。 ・卒業生と語る会では、先輩へ直接質問する機会となり、国試勉強や就職への意欲が高まった。 (理数科)</p>
	<p>【達成状況の指標】 ・学習状況調査において、日々の勉強時間「30 分以上」と 70 % 以上の生徒が回答することを目指す。 (理数科) 【取組状況の指標】 ・三重県版 S S H 事業を利用し、理数科合宿・理数科研修旅行・理数科講演会の内容を充実させ、理数科生徒による桑高体感講座での中学生に対する実験指導を実施する。 【達成状況の指標】</p>	<p>(理数科) ・各行事における生徒の満足度調査では理数科合宿 97 %、科学オリンピック 100 %、中学生実験指導 100 %、校外研修 100 %、課題研究発表会 100 % となり、目標は十分に達成できた。</p>	<p>(理数科) ・理数科合宿は来年度から合宿地が変更になり、よりよい環境でさらなる充実が期待できる。 ・サイエンススクールネットワークの一環として新たに取組んだ中学生向け「体感講座」の中</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事における理数科生徒の満足度調査で「やや満足」以上が70%になることを目指す。</li> <li>② 希望者対象の課外授業を実施し、生徒の学力向上が実感できる課外授業づくりを目指します。 (進路指導部) 【取組状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜課外を隔週土曜日午前に実施・月2回のペースで実施する。</li> <li>・平日課外授業を3年は4月から、2年は10月から実施する。</li> <li>・夏季休業中5週間の課外授業を設定する。</li> </ul> 【達成状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部が年度末に行う生徒アンケートの結果で生徒の満足度を指標とする。満足度80%を目指す。</li> </ul> </li> <li>③ 習熟度別指導等により、個々に応じたきめ細やかな指導で生徒の学力向上を図ります。 (定時制) 【取組状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年において国語、数学、英語の3教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の向上を図る。</li> </ul> 【達成状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒満足度80%以上を目指す。</li> </ul> </li> </ul>	<p>(進路指導部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜課外については、参加者は1年生56.8%、2年生54.5%、3年生48.6%であった。参加者の中で役に立ったと思う生徒は、1年87.2%、2年91.0%、3年85.7%であった。</li> <li>・平日課外については、参加者は2年生70.7%、3年生56.9%であった。参加者の中で役に立ったと思う生徒は、2年97.50%、3年92.8%であった。</li> <li>・夏期課外については、参加者は1年生81.0%、2年生71.95%、3年生85.5%であった。参加者の中で役に立ったと思う生徒は、1年73.1%、2年89.8%、3年87.3%であった。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生において3教科で実施。</li> <li>・生徒の満足度は平均して80%。</li> <li>・教科によっては、満足度に多少のばらつきがある。</li> <li>・国語では漢字の学習に役立つとの意見が多数。</li> </ul>	<p>での中学生向け実験指導については、小学生や大学生との連携をどのように実現するかが課題である。</p> <p>(進路指導部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜課外・平日課外・夏期課外についての満足度80%は、高い水準で達成できた。1年生の夏期課外についての満足度が73.1%であったのは、初めての課外でもあり、自分で考え計画的にとれず、周りに流された部分がややあったと思われる。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力を高めるためには、教材の工夫が必要である。</li> <li>・生徒の学力にも差が大きく、簡単にできてしまう生徒と、なかなか進めない生徒がおり、進め方にも工夫が必要である。</li> </ul>
学 習	<p>中長期的な重点目標の2 「生徒の進路実現をはかる」</p> <p>① 生徒が主体的に学習する姿勢をはぐくむ環境作りを促進します。 (進路指導部) 【取組状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日の有効活用のため、長期休業期間を除く毎土曜日に学校を開放して、自学自習できる環境を生徒に提供すると共に、できるだけ指導者がアドバイスできる体制を作る。</li> </ul> 【達成状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜開放参加者の満足度80%を目指す。</li> </ul> </p>	<p>(進路指導部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30回の実施、指導していただいた先生は69名であった(1月末まで)。</li> <li>・1年生886名、2年生327名、3年生551名、専攻科10名、合計1774人の参加があった。</li> </ul>	<p>(進路指導部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制は確立できた。</li> <li>・土曜開放参加者の満足度をアンケートで取れなかった。</li> </ul>
指 導	<p>中長期的な重点目標の3 「生徒の心と体の健全な育成に取り組む」</p> <p>① 生徒間の対話を深め、気づきが得られるような「総合的な学習の時間」を再考することで生徒の持つ思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた状態を目指します。 (教務部) 【取組状況の指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生はオープンキャンパスを利用した自主活動などを、2年生は修学旅行での班別行動を使った自主活動などを、3年生は校外研修会を使った自主活動などを行う。また、その他にも対話と気づ</li> </ul> </p>	<p>(教務部)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の取組はすべて予定通り行ったが、対話と気づきの大切さを訴える講演会はできなかった。卒業生によるキャリア教育を行う予定である。</li> </ul>	<p>(教務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の取組においては、生徒たちも積極的に楽しそうに参加してくれていた。また、中学校でも同様のことをしてきているためか、スムーズにグループ討議ができています。</li> <li>・達成状況の指標から、数値は上昇してきたもの</li> </ul>

	<p>きが大切であることを訴える講演会を実施する。</p> <p><b>【達成状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「はい」を選択する生徒が80%を超えることを目標とする。</li> </ul> <p>② 大学入試に関連する知識だけでなく、一社会人としてよりよく生きるために必要な興味・関心を高めます。 (総務部)</p> <p><b>【取組状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒昇降口のテレビ掲示板を活用し、社会に関する好奇心を引き出すようなクイズを年間20回発信する。毎回グループウェアデスクネットで職員に問題を紹介し、興味を持ってもらい、問題を提供してもらうことで安定した問題更新を行う。</li> </ul> <p><b>【達成状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記クイズの答と解説の印刷物を50枚作成し、自由に持っていけるようにし、なくなることを目標とする。また年度末アンケートにおいて、「興味が持てた」という解答が50%（昨年度40.3%）を上回ることを目標とする。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <p><b>【取組状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、環境、安全、健康、人権に関する総合学習を年間10回以上実施し生徒の生きる力を醸成する。</li> </ul> <p><b>【達成状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒満足度について4段階でA、B合わせて80%以上を目指す。</li> </ul> <p>③ 生徒の社会に対する興味・関心を高め、知的好奇心や多面的な視野を育むような読書環境を整えます。 (図書部)</p> <p><b>【取組状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館便りの発行、特集本紹介コーナーの設置を月1回程度実施する。</li> </ul> <p><b>【達成状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人当たりの蔵書貸出冊数が引き続き5冊以上になるようにする。</li> </ul>	<p><b>【達成状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年36%だったが、今年は「そう思う」と「少し思う」とで68%と大幅に上昇した。</li> </ul> <p>(総務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震工事のためテレビ掲示板が利用できなくなり、5月までで4回のクイズ出題にとどまった。</li> <li>・耐震工事終了後も生徒満足度アンケートまでの期間がなく、アンケートも断念した。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末までに29回、42時間実施する予定である。今年度も様々な面で生徒に生きる力を育む取組を実施できた。</li> <li>・生徒満足度は、2/6 現在A、B合わせて93%である。</li> </ul> <p>(図書部)</p> <p><b>【取組みの達成状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時事的な話題やPTA講演会との関連も考慮し、図書館便りの発行・紹介コーナーの設置を行い、目標を達成できた。</li> </ul> <p><b>【達成状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人当たり3.7冊（1月末時点）年度末までで約4.5冊程度の見込み。</li> </ul>	<p>の、目標の80%にはまだ届いていないことなどから、より質の高い取組に変えていかなければならないと感じた。来年度も同様に行っていくが、その中身をもう一度見直し、生徒の「対話と気づき」の質の向上に努めていきたい。</p> <p>(総務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震工事での中断も問題ではあったが、生徒の興味関心を引き出す作問がなかなか難しいというのが課題である。</li> <li>・25年度に出題に協力してくれる教員を募るなどの改善を行いたい。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べて生徒の出席率も高く（90%以上）積極的に参加しようとする意欲が見られる。</li> <li>・生活体験作文や人権学習などを学ぶ大切さをより一層生徒に伝えていきたい。</li> </ul> <p>(図書部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集コーナーを組むことで、生徒の時事的な事柄に対する興味・関心のある程度引き出すことができたと考えられる。</li> <li>・図書館（貸出）を利用するのが特定の生徒に固定化しているきらいがあり、さらに多くの生徒が図書室に足を運ぶような企画・取組みを考えたい。</li> </ul>
<p>生 活</p>	<p>中長期的な重点目標の3 「生徒の心と体の健全な育成に取り組む」</p> <p>① 日ごろの生活習慣のリズムを整えることに重点をおき、自立した生活を送る事ができるよう指導します。 (生徒指導部)</p> <p><b>【取組状況の指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成方法として、すべての授業日に毎朝10分校門にて指導する。（考査日は除く）</li> </ul>	<p>(生徒指導部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月末までの比較で、昨年度遅刻数は1162人に対して本年度は877人と</li> </ul>	<p>(生徒指導部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度より8:40登校から8:30登校となったが、バス渋滞に巻き込まれないよう早めに登校</li> </ul>

指 導	<p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校遅刻延べ人数を昨年度より5%減少させる。</li> </ul> <p>② 保健委員会活動を通じ、生徒自ら環境美化・安全・健康教育に取り組みます。</p> <p>(保健部)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員へ自ら取り組むことの大切さを訴えらるとともに、年間9回保健便りを発行する。</li> <li>・保健委員による年間2回の美化活動を行う。</li> </ul> <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員の自主的な出席率90%を指標とする。</li> </ul>	<p>約25%減少した。特に2年生は445→169人と大幅減少した。</p> <p>(保健部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年9回の保健便りの発行達成(予定)であるが、委員会活動の充実に活かすことにはならなかった。保健委員の自主的な出席率90%達成であった。体育大会での救護の係りなど積極的に取り組む姿が見られた。</li> <li>・美化活動は1回のみの実施であった。</li> </ul>	<p>する生徒が多くなった。2年生は0限再試が数多くあり、7時台に登校する生徒が多かった。</p> <p>(保健部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健便りの発行等、委員会活動の充実をはかること。</li> <li>・美化活動を通じてゴミの分別の正しい知識と環境美化への意識を高める良い機会となった。更に意識を高めるために年間二回実施できると良い。</li> </ul>
進 路 指 導	<p>中長期的な重点目標の2 「生徒の進路実現をはかる」</p> <p>① 生徒一人ひとりが自分の進路希望を明確にし、希望を実現させるために何をすべきかを認識させます。そしてその実現にむけて自ら努力できる力を身に付けさせます。</p> <p>(3学年)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望を明確にするため、「志望理由書」を完成させるための指導を行う。</li> <li>・生徒が目標に向けた努力を継続できるよう、何をすべきか気づかせるためのきめ細かい面談や教科指導を行う。</li> </ul> <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「志望理由書」に記載した第一志望の学校に60%以上合格できることを目指す。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、主体的に進路を選択できる力を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の有職率80%を目指す。</li> </ul>	<p>(3年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月30日のLHRを利用して「志望理由書」の下書き作成。担任の指導を入れて6月13日のLHRで清書完成。一人を除き全員提出出来た。またそれを基に9月以降校長・教頭面談を実施した。主任も必要に応じて随時面談を実施した。</li> <li>・朝の打ち合わせや学年会議で面談のポイントを明記した。</li> <li>・受験の結果はこれからだが、「志望理由書」に記入した学校(私立や専門学校を除く)に出願できたのは28,9%にとどまった。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期にキャリア教育を実施。様々な職業の体験授業と面接指導を通じて働くことに対する興味と理解を深め、そこに至る過程において何が必要か、考える機会を持った。</li> <li>・1月末時点での有職率70%</li> </ul>	<p>(3年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次「1年生へのメッセージ・抱負」をきちんと書いた生徒が少なかった。それを考えるとこの「志望理由書」は全体として良く書けていた。これも担任の先生方が真剣に作成する意義を語り指導していただいた賜物だと思ふ。自分の進路を真剣に考えるきっかけになったと思ふ。また校長・教頭面談もこれをフィードバックさせるいい機会であったと思ふ。</li> <li>・担任の先生を中心に何度も面談をしていただいた。ただ1・2年次の学力不足から現実と希望のかけ離れがある生徒が少なからずいた。1・2年次の学習指導や進路指導の重要性を再認識した。</li> <li>・5・6月段階の志望校と出願校にある程度ずれが生じるのは致し方ないが、28,9%は少なすぎる。その多くは学力不足により志望校を変更せざるを得なかった事に起因する。</li> </ul> <p>(定時制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と連携し、生徒との面談を繰り返すことで本人の希望に沿った進路決定をすることができた。就職希望の生徒についてはハローワーク等と連携して、内定を目指して支援している。</li> <li>・進路決定に時間がかかるため、低学年から個々の実情にあった進路指導が必要である。</li> </ul>
人 権 学 習	<p>中長期的な重点目標の3 「生徒の心と体の健全な育成に取り組む」</p> <p>① 自分の内にある差別する心に気付き、「差別をしない、差別を許さない」という意識を高める。</p> <p>(人推委員会)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、チェックリストを配信する。</li> </ul> <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査を行い、「人権に対する意識が深まった」と回答する生徒が80%以上になることを目標とする。</li> </ul>	<p>(人推委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4回にわたり人権通信にて人権感覚を問う質問やチェックシートを載せ、人権に対する意識付けを行った</li> <li>・人権LHR後の生徒アンケートで「人権について考えることができたか」という質問に対して、1年生では83%が、2年生では73%が「できた」または「少しできた」と答えた。</li> </ul>	<p>(人推委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権通信を通しての啓発は、生徒全員が目を通すわけではいので、限界がある。</li> <li>・人権LHRは2学年ともワークショップ形式で行った。事後の生徒の感想やアンケートの結果(全体で78%が◎か○)からも当初の数値目標はほぼ達成できたと考える。しかし、ワークショップ形式だけの人権学習だと、時間的制約から知識の習得が多少疎かになり、その辺りが課題と言える。</li> </ul>
学	<p>中長期的な重点目標の3 「生徒の心と体の健全な育成に取り組む」</p> <p>① 本校の「さわやか教育」を学校窓口から広く発</p>	<p>(事務部)</p> <p>【取組みの達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内図、配置図への配慮を求める</li> </ul>	

校運営の取組	<p>信じます。 (事務部) 【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校教育への信頼度向上につなげるために、さわやか対応を心がける。</li> </ul> <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の窓口アンケートを実施し、窓口・電話対応満足度70%を目指す。</li> </ul>	<p>意見が多く寄せられた。 (やや悪い、悪いを合わせ 21%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対応場所の整理整頓では、課題が残ったものの概ね好印象であった。</li> </ul> <p>(よい、やや良いを合わせ 85%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>窓口での素早い対応の評価では、今一步踏み込んだ改善が求められた。 (アンケート(前期) やや悪い、悪いを合わせ 49%)</li> </ul>	<p>(事務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A館耐震工事施工による建物進入経路・受付移設等影響を受けた。</li> <li>来客アンケート結果では、案内板・受付窓口の項目を除き、後期アンケートにてほぼよい評価が得られた。</li> </ul>
--------	---	--	---

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>「目指す学校像」を意識したきめ細やかな学習指導を行い、生徒の学習に対するモチベーションを高めている。</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の中に仕事を精選したいという思いは強まっているが、具体的な取り組み方法を模索する段階で行き詰っている。</li> </ul>

(3) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の精選を考える上で、この学校評価報告や保護者アンケートなど、例年当たり前に行っているものも含め、一つ一つその意義を考え直し、精選していったほしい。</li> <li>改革方針自体がわかりにくい。その書式や内容も含め、見た人がわかりやすいものに変えていく必要がある。</li> <li>学力向上の手段として学習の中身や効率ではなく時間の長さで考える風潮が、学校評価報告から受け取れる。</li> </ul>

(4) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>分掌間や学年間で助け合う体制づくりを構築していく。</li> <li>職員がくつろげる時間・空間の確保について考えていく。</li> </ul>	

